

山本合名会社

「飲み手においしいと喜んでいただける酒を造りたい」
こう話すのは、山本合名会社の代表社員、山本友文さん(稽首)。
山本合名会社は明治34年創業で100年以上続く酒蔵。「白瀑」や「山本」といった日本酒を全て米のみで造っています。
また、地元農家から米の作り方を教わり、無農薬・無化学肥料にこだわって、酒米を栽培しています。「現在は1シーズン



日本酒へ情熱を傾ける山本友文さん

飲み手においしいと喜んでいただける酒を目指して

に使用する米の3%ほど。今年には峰浜地区の3つの農家と組んで、酒米を作ってもらいます。今後はもっと増やしたいと考えているので、農業の活性化にもつながるといいです。」と山本さんは話します。
会社には18名の社員がおり、平均年齢は30歳代と若いメンバーで酒造りをしています。吉川翔也さん(八森)もその一人。4年前に入社し、洗米やもろみの管理を担当しています。「自分が管理した酒を、



山本合名会社
(八森269)
TEL 0185-77-2311
・主な商品/白瀑純米大吟醸、山本潤黒(ピュアブラックやまもと)
・主な仕事内容/日本酒の仕込み、酒米づくり

お客さんにおいしいと言ってもらえると嬉しいです。」とやりの話をしてくれました。
また、山本さんは「女性も含め、若い人を雇いたいと考えています。少しでも町が元気になる力になれば。」とも話してくれました。
最後に山本さんに仕事に対する思いを聞いたところ、「山本合名会社で造った酒が、人と人をつなぐエッセンスになればいいですね。美味しいと喜んでいただける酒を造りたいです。」と語ってくれました。

八峰町のなかまたち

八峰町で活動する様々な団体・サークルなどにスポットライトを当てます

Vol.3 八峰町卓球協会

八峰町卓球協会は、20代~60代の町内在住協会員14名で構成される卓球を愛する団体です。
「みんなで和気あいあいと楽しく」をモットーに、毎週火曜日午後7時~9時まで八森中学校体育館で練習しています。また、毎年9月に開催される「県民スポーツ卓球大会」をはじめ、能代市や三種町、北秋田市など県内各地の大会に出場しています。
協会員は随時募集しており、未経験者も歓迎です。興味のある方はお気軽に参加してください!



新商品 ◆◆◆ 和洋菓子舗 ◆◆◆
キヤラメルソースのアップルパイ お彼岸のだんご、御赤飯
ご注文承ります
おみやげに当店のお菓子はいかがですか
美味しいお菓子の店 **高峰堂**
八峰町峰浜場字豊後長根145 TEL0185-76-2041
営業時間 7:30~19:00 不定休

八森地区に限り 午後6:00まで配達!
焼鳥 山ちゃん
焼鳥 1本80円~120円 1,000円以上で配達します!
午後3時までのご予約で、当日配達も可能です
住所 八峰町八森字中塚23-5
電話 77-3418

秋田県には八峰白神、男鹿半島・大潟、ゆざわ、そして認定を目指し活動をされている鳥海山・飛島の四つのジオパークがあります。これらの地域でガイドをされている方々、約70名が八峰町に集まり、二日間にわたって「ガイド共通講座」が開催されました。
この講座は秋田県ジオパーク連絡協議会の事業のひとつです。
ガイドのスキルアップや、情報交換、親睦を深めることを目的として今年度はじめて開かれました。
二日目にはジオツアーを行いました。八峰白神ジオパークのジオサイトを案内しました。その時の様子や、感じたことを伊勢富雄氏に紹介していただきます。

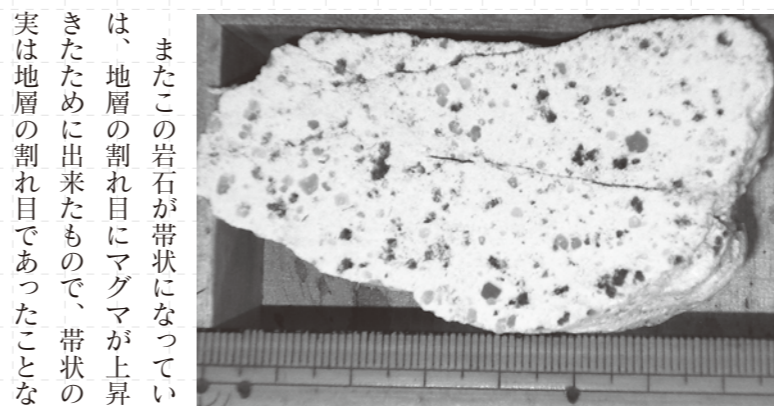


写真1 デイサイトの切断面



写真2 デイサイトの貫入の様子

ジオサイトNo.33「割りこんできたマグマ」を案内して
伊勢 富雄
岩館海浜プールの北側に白っぽい岩が帯のように続いている所があります。私はこのサイトを参加者の皆様にガイドしました。
はじめにプール北側から前述の白っぽい岩体を説明しました。白っぽい岩はデイサイトと呼ばれる岩石で、マグマが地下から上昇して固まった岩石・火山岩の種類のひとつです。(写真1)

またこの岩石が帯状になっているのは、地層の割れ目にマグマが上昇してきたために出来たもので、帯状の形は実は地層の割れ目であったことなども付け加えました。
次にデイサイトの両側にみられる地層に話を移して観察してもらいました。これらの地層(写真2)は暗褐色から暗緑色の岩石で、それらのほとんどはグリーンタフと呼ばれる岩石で、デイサイトから離れるにしたがい褐色は薄れ、しだいに暗緑色に変わっていく事に注目してもらいました。なぜでしょうか?

これはグリーンタフの地層ができてから、そこに割れ目が発生し、その割れ目にドロドロに溶けた高温の溶岩(デイサイト)が昇ってきたために起こった現象です。そう考えるとデイサイトに近いほど熱の影響を受けやすく、もともと緑色であったグリーンタフが暗褐色に変化したものであると説明できます。
ガイドとして感じたことは、植物ばかりではなく、地形・地質もさらに研修を深め、ビジターに喜んでいただける力をつけたいということでした。
最後にジオサイトの案内を終えた後の観光市に立ち寄ったことは改めて意義のある企画だと感じました。参加者の皆様がホッと一息つくことができただけではないでしょうか?7月には東北ジオパークフォーラムが八峰町で開催されます。それに対応できるガイド養成を進めなければならないと考えます。

八峰白神ジオパーク推進協議会 事務局
TEL 018-2632
秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一
ぶなっこランド内
TEL 0185-77-3086